

住所 姫路市打越1339番地  
電話 079-266-5700  
FAX 079-266-5644  
<ホームページ>  
<http://himeji-taiyo.com>

平成30年2月号  
NO. 18

# 太陽だより

## 無病息災 芸事の上達を祈りました

### 1月行事「とんど焼き」

1月15日10時30分から太陽  
グループ行事「とんど焼き」が催さ  
れました。



各施設から正月の飾りつけや施  
設の展示物、個人の書初めや作品  
等を持ち寄って焚きあげました。



参加された各施設の利用者様は、  
寒空の中で火にあたりながら天高  
く舞い上がる煙と灰を見上げなが  
ら健康長寿や字が上達しますよう  
にとお願いをされていました。



\*「とんど焼き」の由来\*



とんど焼きは、日本各地で行われ  
る小正月(1月15日)の行事です。  
元々は、平安時代に記録が残る宮  
中行事「左義長」を起源とする説が  
有力です。平安時代の宮中では、陰  
暦の正月の15日に、青竹を束ねて  
穂杖(ぎつつちよう)3本を結び、その  
上に扇子や短冊などを添え、陰陽  
師が謡いはやしながらか焼くという  
行事が行われていました。その年の  
吉凶を占ったと言われるこの行事  
は、穂杖(ぎつつちよう)3本を結び、  
「とから」「三穂杖(さぎちよう)」「と呼  
ばれました。これが民間に伝わって  
現在の形になったと言われています。  
書初めを焼いた時に炎が高くあが  
ると字が上達すると言われたり、注  
連縄などを焼いた灰を家の周りに蒔  
くとその年の病を除くと言われてい  
ます。  
地方により呼び方が変わり、近畿  
では「そんど」、「かあがり(長野)」、  
「さぎつつちよ(北陸、岐阜、高知、福  
岡)とよばれるそうです。また、神社  
の行事として「お焚きあげ」と呼ばれ  
るそうです。伝統行事として、地域  
で大切にしていきたいですね。

## 1号館4階

4階では、1月行事としては初めての試みとしてスタッフによる書初めと獅子舞の披露を行いました。

書初めは、4階のスタッフが縦横150cmほどの紙を食堂のホールに敷いて、自作のモップのような大きな筆で力強く一気に書き上げますと、その筆さばきに息をのまれ感心されていました。書き上げられた作品は、4階のエレベーター前に展示していますのでご覧いただきたいと思えます。



書初めに続いて、男性スタッフが扮した一匹の獅子が、周りを睥睨しながら食堂に姿を現されると今から何が始まるのか会場が一瞬ざわめきました。

## 書初めと獅子舞



獅子の舞が終わると、利用者様一人一人の前で獅子頭を振りながら軽く利用者様の頭を甘噛みし、その様子を写真に収めていきました。笑顔の方が居られたり、何をされているのかわからず、きよとんとされている方など、会場にはお正月にふさわしい笑いが起きていました。

まだまだ寒さも続き体調を崩しやすい季節であります。皆様が元気に過ごされるよう支援してまいりますと思えます。

## 1号館2階東棟 ホットケーキパーティー

お正月気分も薄れてきたころに、2階東では甘いお菓子をとうとうここで、ホットケーキパーティーを催しました。



ホットケーキを焼くのはスタッフが行いましたが、クリームや果物の盛り付けを利用者様にお任せしたところ、クリームも果物もたっぷり盛り付けられて満足そうな表情を見せられていました。



カロリーのとりすぎを心配しましたが、皆さんの笑顔を見れば無粋なことだと思えました。



今年も皆様が笑顔とともに元気に過ごされます様支援してまいりますと思えます。

## 2月のくだもの

寒い2月に『ネーブルオレンジ』が旬を迎えます。ネーブルオレンジのネーブルは『へそ』を意味しています。底の部分のへこみが『へそ』に似ていることからこの名前が付いたそうです。



ネーブルオレンジは各国で栽培されていますが、日本での栽培、収穫がピークを迎えるのは2〜3月頃です。日本のかんきつ類の生産量は1975年頃を境に減少傾向にあり、ネーブルオレンジも輸入物に押されているようです。

今月は、ケーキにして誕生日ケーキとして利用者様に提供していきたいと思っています。



インフルエンザ、O-157、ノロウイルス等の流行しやすい季節です。当施設も手洗い、マスク、消毒等の予防を行っています。面会に来られる家族様にもマスクの着用と手洗いをお願いしています。ご協力の程お願い申し上げます。